TOP NEWS

企業経営者と知事との意見交換会を開催しました!

公益財団法人かがわ産業支援財団では、今回で17回目となる企業経営者と知事との意見交換会を11月19日、香川県庁で開催しました。

今回は、「コロナ危機を克服する企業経営」をテーマに、企業経営者10名の皆様にお集まりいただき、県からは浜田知事、近藤商工労働部長、財団からは大津理事長、さらにオブザーバーとして県内中小企業の経営者8名が参加し、コロナ禍における取組み事例や今後の展望などについて活発な意見交換が行われました。

CONTENTS

2021年1月 vol.79 発行(年4回発行)

【理事長新年のご挨拶】 …… 1
【トップニュース】
企業経営者と知事との意見交換会を開催しました! …… 2
【コロナ対策特集】
国際取引支援セミナー「withコロナ時代のAI・IoT活用 ～技術革新と海外展開への準備」を開催しました …… 5
香川県「食品商談会」を開催しました! …… 5
コロナ禍に対抗する製品でお客様を守る、会社を守る 香川発 新型コロナウイルス感染防止対応商品 …… 6
【特　集】
もっと知りたい!希少糖 …… 7
【支援事例紹介】
県補助制度の活用及び当財団の支援を受けて届出し機能性表示食品として消費者庁から受理されました …… 8
【財団の活動】
かがわ冷凍食品研究フォーラム・かがわ機能性食品等開発研究会 第8回シンポジウムを合同で開催しました …… 8
知的財産セミナーを開催しました …… 9
「かがわ知財経営塾」を開催しました …… 9
「知財マッチングセミナー」を開催しました …… 10
「知財マッチング in かがわ2020 web面談」を開催しました …… 10
「FABEX関西2020」に香川県ブースを出展しました …… 10
「四国モノづくり合同広域商談会2020 in KOCHI」を開催しました …… 11
令和2年度 地域資源販路拡大支援事業
「地域資源販路拡大商談会2020 in かがわ」を開催しました …… 11
「HOSPEX Japan 2020」に香川県ブースを出展しました …… 12
【財団からのお知らせ】
香川大学大学院地域マネジメント研究科ビジネススクール「地域の中小企業と経済活性化」～ 企業経営の第一線で活躍する講師のよる公開講座を開催中! ～ …… 12
令和2年度版「新かがわ中小企業応援ファンド等事業」成果事例集を発刊しました! …… 13
「新かがわ中小企業応援ファンド等事業」の令和3年度事業を募集しています …… 14
北四国地域(香川県・愛媛県)における知財ビジネスマッチングを開催します …… 15
四国地域知的財産活用セミナーをオンラインで開催しています …… 15
「かがわビジネスモデル・チャレンジコンペ2020」～最終審査に残ったビジネスモデルの公開プレゼンテーション～ …… 16
かがわ発!創業シンポジウムを開催します! …… 16
「第25回機械要素技術展」に香川県ブースを出展します …… 16
【かがわ発!元気創出企業】
「おいしい!」だけでない、栄養や機能性に優れた「食材の基本」を提供するために
吉原食糧株式会社 …… 17

大倉工業株式会社

取締役常務執行役員　**田中 祥友**

事業概要　包装用、光学用フィルム及び建築資材などの製造販売

コロナ対策として導入したテレワーク（在宅勤務、サテライトオフィス）やWEBによる社内会議や商談により、社員の負担が軽減されるとともに、首都圏などとの距離や時間の溝が格段に小さくなり、生産性が大幅に向上した。今後、DXが企業戦略の基本として不可欠な要素となり、製造メーカーとして、5GやAIに対応した工場のデジタル装備を一層進め、「スマートファクトリー化」を図る必要があるが、県レベルでのデジタル化に向けた取組みをお願いしたい。

知事

これまで、AIの体系的な学習のためのゼミナールの開催や企業へのIoT導入のためのコンサルティング等を実施しているほか、令和２年11月には情報通信関連の人材育成、創作活動及び交流の場として、サンポートに「Setouchi-i-Base」を整備した。今後、産業界とも連携し、県全域としてデジタル化を進めていく必要があると考えている。

日生化学株式会社

代表取締役社長　**田中 秀和**

事業概要　合成樹脂製品の製造販売

合成樹脂製品のメーカーとして、コロナ対応製品の開発に取り組み、「Go To Eatキャンペーン事業」にも適した製品として、装着したまま飲食ができるフェイスシールド（シールド部が上方に可動）を開発した。昨今、世界的な環境課題として、合成樹脂業界ではCO_2対策やマイクロプラスチック対策があげられる。これらの研究開発は、単独の企業で行うのは困難であり、研究資金や他団体との連携に対して、幅広く行政のサポートをお願いしたい。

知事

新たに開発されたフェイスシールドは、ユニークであり大変素晴らしい。年末年始の時期を迎え、非常にタイムリーである。県では、プラスチック製品製造業に対し、これまでも競争力強化のための支援体制の構築や人材育成等に取り組んでおり、CO_2対策についても、県産業技術センターにおいて、既存のプラスチック製品の代替化や減容化などに取り組むこととしている。

株式会社ＦＵＪＩＤＡＮ

代表取締役　**本田 展稔**

事業概要　段ボール製品の製造販売

県の助成金を活用してモバイルパソコンを購入し、営業部門に在宅勤務を導入したことにより、生産性が向上し、働き方改革にもつながっている。また、段ボールを使ったコロナ対策製品の開発に取り組み、「飛沫感染対策間仕切り」などを開発した。段ボールを使ったイベント開催を業務とする当社の関係会社では、コロナ禍のためにイベントの開催が困難になったが、巣ごもり需要をターゲットにした段ボールの工作キットのネット販売が好評である。

知事

段ボール間仕切りなどのコロナ対策製品は、まさにwithコロナの時代に必要とされている商品である。また、新たな需要を取り込むことで、コロナ禍による影響を最小限に留めようとする取組みは非常に重要であり、県としても補助制度をはじめ中小企業向けの支援施策の充実を図ってまいりたいと考えている。

株式会社スワニー

代表取締役社長　**板野 司**

事業概要　手袋とキャリーバッグのメーカー

コロナウイルスの影響で売上が落ち込む中、得たものもある。まず、リモートワークが進むことで出張や広い事務所が必要かそうでないか、見える化できたこと。次に、手袋の技術や素材を活かしたマスクの製造販売を始めるなど、社内で変革の機運ができたこと。また、マスクの販売にあたりECサイトで直接消費者に販売するDtoCの新たなビジネスモデルを構築することができ、未来が早くやってきた、と感じている。企業経営とは変化に対応することだ、ということを学ばせていただいた。

知事

手袋の素材や技術を活かしたマスクの製造販売などの新たなビジネス戦略や出張、事務所スペースの見直しに関するお話は、日頃からの組織文化が生み出したものだと感じた。県内外を問わず企業にとって厳しい状況が続く中、元気が出る形での取組みは非常に心強い。是非引き続き変化に柔軟に対応できる企業経営をお願いしたい。

タケサン株式会社

常務取締役　**武部 興征**

事業概要　醤油・調味料の製造及び佃煮惣菜等食品販売

小豆島で醤油、佃煮等の製造販売を行っている。食品を扱うため、コロナウイルス感染防止対策は徹底して行った。まず、工場勤務の社員を時差出勤させ、動線管理や毎日の検温を徹底した。営業支店の社員にはテレワークを許可し、社内会議や営業活動はオンラインに移行した。一方、アイデア出しの会議などオンラインでは難しい点もあり、課題である。今後は、コロナ禍による家庭向け商品への需要の高まりを受け、市販品の販売に注力し、小豆島の明るいイメージを商品に乗せ届けていきたい。

知事

テレワークやオンライン会議について、非常に工夫し取り組んでおられる。オンライン会議での課題についても乗り越えられるような新しい取組みに期待している。県ではテレワークに関する経費の助成を行っており、今後も引き続き企業の柔軟な働き方に対する支援を行って参りたい。

株式会社トクシンテクノ

代表取締役　**小林 有二**

事業概要　階段、手すり等建築金物の製造、据付

鉄製の階段や手すりの設計、製造、据付を行っており、新卒採用にも力を入れ、外国人エンジニアを積極的に採用している。計画から納品まで半年から数年とスパンが長いため、コロナウイルスの影響は来年以降出てくると考えている。その中で、我々は「トクシンマーケット」という鉄骨業界専門のネッ

トワークづくりを行っている。これにより、会議やプレゼンのオンライン化等、感染防止を図りつつ、他県の仕事を県内に取り込むことが可能であるので、このようなネットワークづくりにご協力いただきたい。

知事

独自の受発注ネットワークは、人手不足の解消や生産効率の向上に寄与する非常に前向きな取組みだ。かがわ産業支援財団では、四国合同広域商談会や関西圏を対象にした広域商談会への参加を支援するとともに、支援機関ネットワークや専門家を活用した協力企業の開拓の支援もできるので、ご相談いただきたい。

学校法人穴吹学園

専務理事　**大平 康喜**

事業概要　専門職短期大学・専門学校の経営

今春はコロナ感染拡大により入学式を中止しオンライン授業を実施してきたが、理解度も高く好評だった。日本に入国できない留学予定者にも母国でのオンライン授業を実施し、さらに世界12カ国を結びオンラインによる秋季入学式を開催した。また、アルバイトが激減し困窮している留学生に多くの支援が寄せられ、留学生が香川で就職する気持ちにつながっていくと思う。今後とも食料支援などが継続的に必要である。また、県との官学連携も広く進めたいのでご協力いただきたい。

知事

オンライン授業にいち早く取り組み、さらにそれを入国できない留学生についても活用しているほか、アルバイトが減少し困っている留学生の生活面のサポートもしている。非常にすばらしい取組みだと思う。留学生が将来的に、香川県で働きたいと思えるように、県全体で支援に取り組んでいきたい。

株式会社ＪＲ四国ホテルズ

代表取締役社長　**矢田 栄一**

事業概要　ＪＲ四国グループのホテル会社

新型コロナ感染症の影響で、宴会部門は今後も厳しい状況が続くと思われる。対応策として検温や消毒、３密回避策などを徹底している。そのうえで、利用しやすいプランを提案しながら販売促進に努めていきたい。また、コロナ支援で様々な補助制度を活用でき感謝している。今後、コロナ禍が落ち着けば、国内観光の地域間競争が激しくなるだろう。2021年は「四国デスティネーションキャンペーン」もあり、観光の回復のためご支援をお願いしたい。

知事

ホテルの利用が非常に落ち込み、たいへん厳しい状況であり、当面まだ厳しい状況が続くと思っている。大人数の飲食等が難しいところではあるが、いろんな工夫で、利用者に安心して使っていただけるようにし、GoToキャンペーンの関係を含めて、できる限り利用促進を図り、観光の事業回復に取り組んでいきたい。

琴平バス株式会社

代表取締役　**楠木 泰二朗**

事業概要　旅行・バス・タクシー、オンラインバスツアー

Something New! をスローガンに、コロナ禍における新しい旅の形として全国でオンラインバスツアーを展開し、オンライン上でのコミュニケーションを通じて地域のファンになっていただき、将来的にはリアルにこの地を訪れていただくということをコンセプトに事業に取り組んでいる。また、インバウンド需要を取り込むため、米国版オンラインバスツアーもスタートさせたほか、滞在型ワーケーションなど、民間連携で地域への誘客、関係人口創出といった取組みも行っている。

知事

オンラインバスツアーは大変反響を呼んでおり、米国版もスタートさせるなど、国内外に香川の魅力を発信していただき、コロナ収束後も将来的な誘客につながることを期待している。本県と関わりのある台湾、中国本土、韓国、香港にも広げていただければありがたい。県もインバウンドの回復に向けて一緒に取り組んで参りたい。

瀬戸内ワークス株式会社

代表取締役　**原田 佳南子**

事業概要　宿泊施設の運営、地域プロデュース事業

香川県のうどん文化を世界に広めることを目的に、三豊市で「UDON HOUSE」という体験型の宿泊施設を運営しているが、利用者が大幅減となったため、新たに、コロナに影響されない事業の柱として、UDON HOUSEで体験する6時間の体験をぎゅっと詰めこんだうどんのサブスクリプション「うどんのおうち」の商品開発に取り組んだ。また、一時休業した「瀬戸内ワークレジデンスGATE」はテレワーク需要をメインに再開した。今後は、荘内半島でのワーケーションの取組みも進めていきたい。

知事

「うどんのおうち」という新しいアイデアで、うどんのみならず、うどんを通じて地域の魅力をピーアールしていただいており、今後は、荘内半島など国内でもまだまだ知られていない香川の魅力も広く発信し、さらにワーケーションなど新たな需要を掘り起こしていっていただきたい。県も情報共有しながら、できることを支援して参りたい。